

心理学ブース 研究者の発表内容

「PCを使用した心理学実験の実演」

社会心理学・認知心理学・行動分析学から、それぞれ計3種の心理学実験を若手研究者が実演します。

※以下に示す開催予定時間は当日、変更される可能性があります。

- ・虚記憶と推論（認知心理学） 担当：前期博士課程 西優里（10:30~12:00の間に30分）
見ていないものを見たとする虚記憶が、どのような推論の結果生ずるのか簡単に説明をし、DMRパラダイムという手法を用いて、心理学実験を実演する。
- ・遅延割引（行動分析学） 担当：前期博士課程 中村敏（12:30~14:00の間に30分）
待つことによって報酬の主観的価値が低下する「遅延割引」という現象を、質問紙による測定を通して実演する。
- ・潜在的自尊心と精神的健康（社会心理学） 担当：UCRC 研究員 田端拓哉（14:00~15:30の間に30分）
意識化されることなく人が自分に対して抱いている評価的感情を潜在的自尊心という。このような潜在的自尊心を実際に測定し、これが精神的健康とどのように関係しているかを解説する。